



7月の予定

- 1日(火) 全国安全週間(～7日まで)
- 5日(土) 津別町夏まつり 前夜祭
- 6日(日) 津別町夏まつり 本祭
[休日当番病院] 美幌 田中医院 ☎73-2913
- 13日(日) 夏の全国交通安全運動(～22日まで)
[休日当番病院] 美幌町立国保病院 ☎73-4111
- 16日(水) 離乳食教室
- 17日(木) 北海道みんなの日
- 19日(土) ウッドロスマルシェ 午前9時～正午
リサイクル回収 午前9時～11時(スポーツ交流館)
- 20日(日) [休日当番病院] 美幌 みやざわクリニック ☎75-0800
第27回参議院議員通常選挙
- 21日(月) [休日当番病院] 美幌療育病院 ☎73-3145
- 27日(日) [休日当番病院] 美幌 玉川医院 ☎75-2780

人の動き

令和7年5月末現在
()は前月比

人口 3,922人(-8) 世帯 2,127戸(-4)
 男性 1,937人(-1) 女性 1,985人(-7)
 高齢化率 46.12% 1,809人

メール配信システム「ささえねっと@つべつ」への登録をお願いします！

町の防災情報など大切な情報をお届けしています。

メールの登録方法

①QRコードから登録



②t-tsubetsu@sg-p.jp(メールアドレス)を入力し、空メールを送り登録

LINEの登録方法

QRコードから登録



※詳細は、町のホームページをご覧ください。



問い合わせ先
防災危機管理室
☎76-2151

【223】運動会

5月24日に津別中学校、6月7日に津別小学校の運動会が行われた。どちらも同じちゃんとして見学したが、随分子どもの数が減ったなという印象を受けた。

人口の多かった昭和34年当時の生徒数は、津別中学校が596人、津別小学校が1,444人だった。現在は中学校が83人、小学校が145人である。

わが子を応援する親たちの場所取りが凄まじかったあの頃を思い出す。仮に一人の生徒に少なくとも3人が応援に来たと仮定すると、中学校は1,788人、小学校は実に4,332人がグラウンド狭しと「ゴザ」やビニールシートを敷きつめ声援を送っていたことになる。

たてよこプラス



町長 佐藤多一

懐には、家庭で作ったおにぎりのり巻きを食へ、渴いた喉にサイダーを流し込んでいた。時代が進むと焼肉をする家族も見られるようになり、グラウンドの脇には露店も出ていた。今こつした光景は全く見られなくなつた。それもそのはずで、子どもの数が圧倒的に少ないため、運動会は午前中で終つてしまつたからである。

小学校の種目に「ヤングマン」の曲で踊るダンスがあった。原曲はディスコグループのウィレッジ・ピープルが歌う「YMC A」で、昭和53年に発表された。その年は、アメリカに研修旅行に行つていて、マサチューセッツ工科大学近くのディスコバーで流れていた記憶がある。翌年西城秀樹がこの曲をカバーして大ヒットしたが、それから46年。今もこの曲が使われていることに感慨を深くした。

昭和51年には農民運動会、商工運動会、労働文化祭体育大会が統合され、「町民運動会」が始まり、町は大いに盛り上がった。しかし、平成4年の台風災害を機に、第17回大会をもって幕を閉じた。

見てきた景色は世代によって異なる。昭和34年当時の様子を記憶している人にとっては寂しい限りだが、今の生徒たちにとっては、現在の景色が出发点になる。